



# 砂防だより



少部原谷川通常砂防事業（いなべ市藤原町）

## CONTENTS

- ご挨拶 ..... 1
- 一般社団法人 三重県社会基盤整備協会 令和4年度 第8回定時総会 ..... 2
- 一般社団法人 全国治水砂防協会 第86回通常総会 ..... 3
- 令和3年度 東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議 ..... 3
- 三重県土砂災害情報提供システム ..... 4
- 土砂災害防止訓練および施設点検 ..... 4
- 令和3年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」優秀作品 ..... 5～6
- 令和3年度、4年度 砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業 完成箇所を紹介 ..... 7
- 今後の予定（令和4年度） ..... 7



一般社団法人 三重県社会基盤整備協会

# ご挨拶



一般社団法人三重県社会基盤整備協会理事（治水砂防協会三重県支部長）

いなべ市長 日沖 靖

気候変動により、台風、集中豪雨は、年々、激甚化・頻発化し、毎年のように全国各地で甚大な被害が発生し、今年も7月14日からの西日本から北日本にかけての大雨や、9月に来襲した台風15号に伴う大雨により、広範囲において記録的な雨量を観測し、河川の氾濫や土砂災害の発生により、尊い人命が失われました。

本県においても令和3年度は7件の土砂災害が発生し、平均すると毎年14件程度の災害が発生している状況にあります。三重県は急峻な地形を多く有し、土砂災害危険箇所は約1万6千箇所が存在しまして、未だ保全が必要となる施設・家屋等が5万棟余り残っています。このような状況において、「必ず起こる」自然災害に対しては、いかに備えておくということが重要であると考えます。

また、令和3年6月に土砂災害（特別）警戒区域の指定が完了し、現在、2巡目の調査を進めているところですが、土砂災害の発生により被災した家屋においては、そのほとんどが警戒区域内に建っていたとのことから、避難体制の強化も求められているところです。

土砂災害は、一瞬にして尊い生命と貴重な財産を奪ってしまいます。頻発する土砂災害に対しまして、住民の方々の安全安心な暮らしを確保するには、ハード・ソフトが一体となった効率的、計画的な対策を図るための予算の確保、並びに既存施設が本来の機能を発揮し続けるための老朽化対策や長寿命化対策に必要な予算の確保が必要となります。

令和3年度より「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」として国土強靱化に重点的・集中的に取り組み、2年が経過しましたが、災害に強い県土づくりを進めるには、この機にさらに深化させ整備促進を強力に加速させていくことが重要であると考えます。

一般社団法人三重県社会基盤整備協会は、住民の安全安心や住民福祉の向上に寄与する社会基盤整備事業の促進活動に積極的に取り組んでおります。

今後とも関係機関のみならずと連携して砂防事業の整備促進に努めて参りますので、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

# 一般社団法人 三重県社会基盤整備協会

## 令和4年度 第8回定時総会

令和4年7月26日（火）、アスト津アストホール（津市）において開催しました。

今年度は、一見三重県知事、藤田三重県議会副議長をお招きし、3年ぶりに全会員による定時総会が開催されました。総会では会長の河上熊野市長より、「今年も福島県沖を震源とする地震が発生し、3名の尊い命が失われ、毎年、自然災害が激甚化、頻発化している。国においては平成30年度より国土強靱化のための社会基盤整備に取り組んでいるが、まだまだ整備水準は不十分であり、必要十分な予算の確保が必要である。本協会の活動はこのような事業の推進の一役を担っているものと捉えており、今後もさらに大きな成果に繋がるよう、着実に継続をしてまいりたい。」との挨拶がありました。



河上会長

来賓の一見三重県知事からは「社会資本は観光・産業・県民の命を守るために不可欠なものであり、しっかりと予算を確保して進めていかなければならないものである。社会基盤整備が順調に進むよう、皆様のお力をお借りし取り組んでまいります」との祝辞を、藤田三重県議会副議長からは「社会基盤の整備は県民の



辻村議長

安全安心の確保はもとより、経済活動の発展において不可欠なものである。本年10月に中期戦略計画である『三重元気プラン』において大規模災害に対応した防災減災、県土の強靱化対策の加速深化を位置付けており、関係機関と連携を図り更なる推進を図る」との祝辞をいただきました。また、佐々木中部地方整備局副局長、奥田近畿地方整備局企画部長からも社会基盤整備促進に向けての心強いお言葉をいただきました。

来賓挨拶の後、総会議事に入り、令和3年度事業報告、令和3年度収支決算、役員を選任、令和4年度収支補正予算（第1号）、決議案について審議が行われ、原案どおり承認されました。総会後に、大石久和国土学総合研究所長から、「転落の日本を救う社会基盤」と題するご講演をいただきました。

(一社) 三重県社会基盤整備協会

令和4年度 第8回定時総会



安全安心の確保はもとより、経済活動の発展において不可欠なものである。本年10月に中期戦略計画である『三重元気プラン』において大規模災害に対応した防災減災、県土の強靱化対策の加速深化を位置付けており、関係機関と連携を図り更なる推進を図る」との祝辞をいただきました。また、佐々木中部地方整備局副局長、奥田近畿地方整備局企画部長からも社会基盤整備促進に向けての心強いお言葉をいただきました。



一見三重県知事



藤田三重県議会副議長



大石講師

一般社団法人

# 全国治水砂防協会 第86回通常総会

令和4年5月26日（木）、砂防会館別館シェーンバッハ・サポーにおいて、「令和4年度通常総会（第86回）」を、会員をはじめとして、衆・参両院の国会議員、国土交通省等、多数の方々のご臨席のもと盛会裏に開催されました。

森山裕会長が挨拶を行った後、総会議事に入り、令和3年度事業報告、収支決算審議及び公益目的支出計画実施報告、令和4年度事業計画報告及び収支予算報告が行われ、全会一致で承認されました。次に、三上幸三砂防部長より『『いのち』と『くらし』を守る砂防』と題した講演がなされました。総会終了後に、功労者表彰が行われました。



森山会長



加藤政務官



三上砂防部長

## 要望活動

定時総会で承認された決議について、要望活動を行いました。

### 【要望事項】

頻発する土砂災害に対して、災害に強い県土づくりのための施設整備を進めるとともに、ハード・ソフトが一体となった効率的、計画的な対策を図るため必要な予算を確保すること

- |          |                             |
|----------|-----------------------------|
| 令和4年8月3日 | 知事要望、三重県議会正副議長要望            |
| 8月23日    | 自由民主党三重県支部連合会               |
| 9月7日     | 三重県議会 新政みえ                  |
| 10月6日    | 国要望（国土交通省、財務省）、三重県選出の国会議員要望 |



知事要望



三重県議会議長要望



水管理・国土保全局長要望



砂防部長要望

## 令和3年度 東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議

令和3年10月11日に愛知県で開催予定であった令和3年度の東海地区砂防支部長・砂防課長会議は、新型コロナウイルス感染症により書面開催となりました。

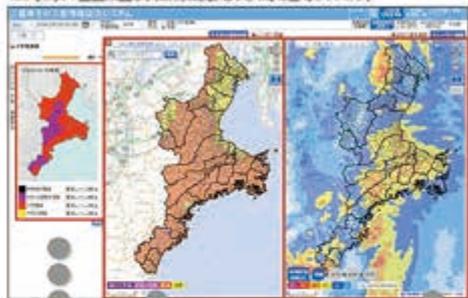
# 三重県土砂災害情報提供システム

県民のみなさんの避難行動や市町による避難指示等の発令を適時・適切に行っていただけるよう、「三重県土砂災害情報提供システム」を運用しています。土砂災害が想定される土砂災害（特別）警戒区域を閲覧することもできますので、お住まいの地域に危険な場所がないかご確認ください。

## 土砂災害（特別）警戒区域

### 三重県土砂災害情報提供システム

県民のみなさんの避難行動や市町による避難指示等の発令を適時・適切に行っていただけるよう、「三重県土砂災害情報提供システム」を運用しています。



**土砂災害警戒情報等**  
土砂災害警戒区域等指定区域の危険度別表示を行います。

**土砂災害危険情報 (1kmメッシュ-範囲別)**  
1kmメッシュ-範囲別に、市町による土砂災害危険度の危険度を掲載しています。

**レーダー情報 大雨-予測 (1kmメッシュ)**  
10分間隔で観測された1kmメッシュレーダー-雨量データ、過去1時間平均10分間隔雨量データの平均化結果を掲載しています。

三重県土砂災害情報提供システム <https://www.sabo.pref.mie.jp>  
(パソコン、携帯電話、スマートフォン共通)



# 土砂災害防災訓練、学習会および施設点検

毎年「土砂災害防止月間」の6月には、土砂災害防災訓練を実施しておりますが、新型コロナウイルス感染による対策のため、昨年度に引き続き、中止・延期の市町もあったものの、県内各地の自治会単位等で、防災意識と地域防災力の向上を図るため、土砂災害に関する情報の伝達訓練、災害合同訓練、学習会などが実施されました。

また、県内各地で砂防設備や急傾斜地崩壊防止施設の点検を実施しました。



訓練の状況 尾鷲市



学習会の状況 いなべ市



学習会の状況 志摩市

## 令和3年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」優秀作品

土砂災害防止に対する皆様のご理解とご関心が深まり、防災知識がより一層普及されるよう、毎年6月が「土砂災害防止月間」として定められており、この月間の取組の一環として、次代を担う小学生・中学生を対象に、土砂災害に関する絵画・作文を募集し、作品を応募いただいています。

令和3年度は応募いただいた作品の中から、作文の2作品が国土交通事務次官賞を、絵画の2作品が三重県知事賞を受賞しました。

### ◆ 受賞作品 ◆

#### 【国土交通事務次官賞】

(中学生作文部門)

#### 「学んだ事を生かす」 烏井 栞奈 さん (四日市市立西笹川中学校1年)

私はこの夏、土砂災害のニュースをテレビで観ました。そのニュースは、静岡県熱海市で起きた土砂災害でした。テレビで観た光景は土砂が周りを飲み込みながら流れている様子でした。近くにいた消防車や消防隊員の方が危うくその土砂に巻き込まれそうになっている映像も観ました。それを観た私は、とても怖いと思いました。その土砂災害により何人もの方が亡くなってしまったり、行方不明になっている事を知りました。突然土砂に襲われてしまった人達のことを思うととても悲しく、どうにか助かる事はできなかったのだろうかと考えました。そして、なぜこのような土砂災害が起きてしまうのかが気になって調べてみることにしました。

まず、ネットで土砂災害について調べました。すると、傾斜が急な山が多い日本は、台風や大雨などが引き金となって、がけ崩れや土石流、地すべりなどによる土砂災害が発生しやすい国土環境であることがわかりました。そして、平均すると一年間におよそ一〇五件もの土砂災害が発生しているそうです。ニュースで観る土砂災害はほんの一部の事なのだと思います。同時に、そんなにも土砂災害が起きているということに驚きました。それほど発生している土砂災害からどのようにして身を守れるのか、事前に災害が起きるのを知ることができないか調べてみました。

まず、自分が住んでいる地区が土砂災害警戒区域になっていないか、避難をするときにはどこに逃げるのかわかっておくことが大事だということがわかりました。そこで、市町村が作成している土砂災害ハザードマップを利用して確認してみました。

実際自分の住んでいる所をハザードマップで調べてみると、災害区域にはなっていませんでしたが、近くには何ヶ所か特別警戒区域になっている所もありました。

今まで、あまり気にしていなかったけれど、そんな所が近くにあるのを知り、もしかしたら土砂災害が起きて被害にあってしまう人達がいるかもしれないと思うと、不安に感じてしまいます。

次に、雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意することも大事だということがわかりました。台風等によって雨が降り続いた後に、非常に激しい雨や猛烈な雨が降ると発生する危険もあり、特に激しい雨でなくても長時間続いた場合また発生する危険もあるのです。

私は、激しい雨が降ったりすれば災害が起きやすいだろうとは思っていましたが、それほどの雨でなくても発生する可能性もあるのだと知る事ができました。

雨の強さや降り方に関係なく、自分達で判断せずに避難情報に気を付けながら早めに安全に避難するようしなければいけないなと思いました。落ち着いて判断ができるように常日頃から心がけようと思います。

このように自分で調べて備えることで土砂災害から身を守る事ができるようになるんだと思いました。そして、色々調べている中で国土交通省のホームページの中に砂防という土砂災害について書かれているページがありました。その中に「防災カードゲーム」というものがありました。詳しく見てみると、土砂災害についてカードゲームで遊びながら土砂災害から命を守るための方法を学べるようになっていました。遊びながら楽しく学べるのであれば、小さな子でも身を守る方法やどのような事が起こるのかわかる事もできて、とても良い方法だなと思いました。

例えば、カードを組み合わせると「雨が降っている時やその後」「小石が落ちてきたら」「がけ崩れの前ぶれだよ」という風にわかりやすい絵と文章で書いてありました。ゲーム式になっていれば、小さい子からお年寄りまでの幅広い年代の人達に楽しみながら知ってもらえるのでぜひやってみてほしいと思いました。

私は今回、意識した事なかった土砂災害について調べてみましたが、今までその恐ろしさはテレビを通してしか観ていませんでした。そして、自分の身に起こる事だとも正直思っていませんでした。でも、この先大人になり自分がどこに住み生活していくのか分かりません。なので、今回調べた事をしっかり頭にいらしておこうと思いました。

これから、今まで以上の被害がでないようにまずは自分ができることを考えて行動をし、少しでも被害が増えないようにがんばろうと思いました。

## 【国土交通事務次官賞】

(小学生作文部門)

### 「今、ぼくにできること」 草薙 結吏 さん (鈴鹿市立加佐登小学校3年)

「しょうぼうしさん、にげて。」

七月三日あたまみ市でおこった土砂さいがいのえいぞうを見て、ぼくはさげんだ。えいぞうには、まっ黒のどろがすごいスピードでながれていて、しょうぼうしさんが走ってにげていた。そのしょうぼうしさんは助かったみたいだけど、町は家も車も道もなくてまっ黒になっていた。ここに家があったのかと思うほど、何もなかった。ぼくはこわくて、目をふさいだ。

もしもぼくの家がここにあったらどうなっていたら。思っただけで苦しくなった。家族がいっしょにいたらいいけど、もし、はなればなれになったら、まず何をすればいいのだろうか。心配になってお母さんに聞いてみた。するとお兄ちゃんが地域のハザードマップを調べていたから、ぼくもいっしょに見た。ぼくの家近くに海や川、大きな山はない。だからハザードマップにしん水よそくや土砂さいがいのけいかいくいきには入っていなかった。安心したけど、小学校の校区の中には土砂さいがいとくべつくいきの所があってびっくりした。何も知らなかったけど、ぼくの近くでも、気をつけないといけない場所があるんだと分かった。

ぼくの家はずか市の中でも山のほうにあって街中に行こうと思うと、川や山を通らないといけない。二年生の時に、その山道を走っていると、長い間工事をしている場所があった、台風でのり面がくずれたようでブルーシートもひいてあった。だれかが早く気づいて工事してくれたから、ひがいもなかったけど、少しでもおくれていたら、道が通れなくなったり、車や人がうまっていたかもしれない。台風の時や大雨の後は、ちがう道を通ったり、気をつけて通らないといけないと思った。

土砂さいがいの事をあまり知らなかったけど、今年はいろいろな所でひがいがおこっているから、家族でできることを、話した。ひなんじょうほうを見て指示にしたがうことや、ひなんするときに持っていくものを用意した。日ごろから気をつけていくことで命を守ることができるんだと思った。

さいがいで家をなくしたり、家族がなくなったりしている人の事を考えたことがなかったけれど、この作文を書いて少し考えることができた。さいがいがあった時にあわてずに家族で話し合った行動ができるようにしようと思った。

## 【三重県知事賞】

(小学生絵画部門)

### 「まずは逃げて!!」

草薙 嘉粹 さん (鈴鹿市立加佐登小学校5年)



(中学生絵画部門)

### 「早め早めの行動を」

出口 桜子 さん (セントヨゼフ女子学園中学校2年)



## 令和3年度、令和4年度 砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業 完成箇所を紹介

土石流や急傾斜地の崩壊などの土砂災害から人命及び人家、公共施設等を守ることを目的に、砂防えん堤や擁壁等を整備する砂防事業や急傾斜地崩壊対策事業を実施しています。

しょうぶ はらたにがわ

### 少部原谷川 通常砂防事業

(いなべ市藤原町大貝戸) 【表紙】

二級水系員弁川水系少部原谷川は、溪流の荒廃や山腹の崩壊が進み、放置すれば次の出水により容易に流下し、下流に著しい土砂災害を及ぼす恐れがありました。このため、平成21年度から整備を進めていた砂防えん堤と溪流保全工が、令和4年6月28日(火)に完成しました。事業が完成したことにより、約3,000㎡の土砂や流木の流出が抑えられ、下流の人家約14戸や、県道・市道等への被害を軽減できます。



あ た わ

### 阿田和地区 急傾斜地崩壊対策事業

(南牟婁郡御浜町)

阿田和地区は、急斜面下部に人家が密集しており、さらに、斜面上部には要配慮者利用施設である紀南病院が位置している。斜面が崩壊すれば甚大な被害が想定されていたことから、平成24年度から面積約7800平方メートルの吹付法枠を整備し、令和3年度に完成しました。



れんげじ

### 蓮華寺地区 急傾斜地崩壊対策事業

(度会郡度会町棚橋)

蓮華寺地区は、三重県南部に位置し、がけ高約30メートル、勾配約45度の急傾斜地で、保全対象には避難所に指定されている度会小学校があり、がけ崩れ等の斜面崩壊が発生するおそれが高いために、平成29年度から延長約100メートルの擁壁工を整備し、令和3年度に完成しました。



とめやまひがしたに

### 止山東谷 通常砂防事業

(度会郡度会町棚橋)

一級水系宮川水系止山東谷は、溪岸浸食が進み、土砂生産が活発であり、近年の台風や集中豪雨により荒廃が進行し、河床には不安定土砂が堆積しています。下流の人家や避難所となる小学校への被害が懸念されるため、平成29年度から通常砂防事業により砂防堰堤1基の整備し、令和3年度に完成しました。

## 今後の予定 (令和4年度)

開催日	行事名	場所
令和4年11月8日	東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議	岐阜県
令和4年11月15日	令和4年度全国治水砂防促進大会	東京 砂防会館
令和5年2月中旬	第63回砂防および地すべり防止講習会	東京 砂防会館



発行日: 令和4年11月

編集・発行: 一般社団法人三重県社会基盤整備協会

〒514-0004 三重県津市栄町一丁目891 三重県合同ビル

TEL.059-271-8671 FAX.059-271-8672

E-mail:mie-shakaikibankyo@chive.ocn.ne.jp

